



---

今月の主な内容

---

- 卒業式
- 町政執行方針
- 全国体力・運動能力等調査の結果

今月の表紙

51年の歴史に幕  
湧別小学校卒業式



# 旅立ちの日に

小・中・義務教育・高等学校で卒業式

新型コロナウイルス感染症のなかでの学校生活でしたが、さまざまな工夫で乗り越え、抱えきれない思い出を胸に学校をあとにしました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



# 令和5年度

# 町政執行方針

4月から新しい年度が始まりました。この1年間、どのようにまちづくりを進めていくのか、3月の町議会定例会で刈田町長が町政執行方針を述べ、その実現に必要な予算が決定しました。「人と自然が輝くオホーツクのまち」を目標に掲げる町政の執行方針（要旨）と令和5年度予算の概要をお知らせします。



## はじめに

町政の重責を担わせていただくことになってから2年目を迎えたところであります。この1年4カ月の間、まちづくり懇談会などさまざまな機会を通じ、町民の皆さまとの対話を重ね、町政に対する多くの貴重なご意見をいただいております。

年々、多様化・複雑化する社会にあって、行政が取り組むべき施策や解決しなければならぬ課題は山積しておりますが、町民の皆さまから寄せられた声を施策に反映できるよう、前例にとらわれないこと、スピード感を持って対応してまいりたいと考えております。

これからも変化を恐れずに、30年後・50年後の湧別町の未来を思い描きながら、「町民が安心して暮らせる持続可能な地域社会の実現」を目指し、全身全霊で取り組んでまいります。

## 町政を取り巻く諸情勢

わが国の経済情勢は、「景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、穏やかに持ち直している」とされ、先行きについては、ウィズコロナの下で各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されるが、世界的な金融引締め等が続くなか、海外景気の下振れがリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約や感染拡大の影響に十分注意する必要があります。」とされております。

政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2022」において、コ

ナ禍からの回復とウクライナ情勢下での当面の対応を示しつつ、新しい資本主義に向けた取り組みとして「課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済の実現」を掲げ、官民が協働して重点的な投資と規制・制度改革を中長期的かつ計画的に実施するとしております。

地方財政においては、引き続き行政全般の広域化やデジタル化の推進の検討を進めるとされ、また、従前からの課題である防災・減災対策やインフラ施設の長寿命化、福祉・教育・人づくり等に係る新たなサービス需要の増加といったさまざまな課題に対処していくことが求められております。

本町においては、「行政改革大綱」などにより、持続的で安定的な財政運営の確立を進めており、財政健全化比率の4指標全てが健全な数値で推移しております。

令和5年度予算の歳入については、町税の増収見込みや地方財政計画における伸び率を勘案した結果、一般財源を前年度より確保できた内容となっており、先行きは原油価格・物価高騰などの影響により、依然として不透明な状況であります。

このような状況のなかにも、第3期湧別町総合計画の理念である「人と自然が輝くオホーツクのまち」の実現を目指し、まちづくりの礎となる計画を円滑に推進していくため、限られた財源の有効活用を図りながら、行財政運営全般にわたり厳しく見直しを行うとともに、

未来志向の中でスピード感を持って必要な町民ニーズに答えられる財政運営を行ってまいりたいと考えております。

## 安全・安心で快適に暮らし続けられるまちづくり

### ○定住促進対策

持家奨励応援補助制度により、個人の持ち家を奨励し、特に子育て世代や転入者に対して手厚い支援を行います。

第2はまなす団地と開盛第2パークタウンの分譲を進めるほか、宅地分譲計画の作成を検討し、空き地の活用に取り組みます。

民間資金を活用し、賃貸住宅や社員寮の建設を促進します。



現在建設中の民間会社の社員寮

### ○公営住宅

公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的に整備を進めます。

## ○水道

老朽化が進んでいる各水道施設は、湧別町水道事業アセットマネジメント・経営戦略などに基づき計画的な維持修繕・更新を行います。

## ○下水道・登栄床地区漁業集落排水施設

ストックマネジメント計画などに基づく効率的な修繕・更新を行います。

## ○道路整備

西3線道路の車道拡幅、開盛北道路と信部内中の沢道路の改良舗装を行います。

## ○高規格道路旭川・紋別自動車道

遠軽上湧別道路の早期着工と、それ以降の新規事業化に向けて要望活動を続けます。また、南兵村一区以降の延伸を見据え、本町のまちづくりにとつて望ましいと考えられる路線、インターチェンジの位置、道の駅などの交流人口拡大に向けた拠点のあり方などを検討します。

## ○空き家対策

空き家等除却推進事業の内容を見直し、除却を推進するとともに利活用可能な空き家の流通を図るための支援を行います。

町が空き家を借り上げ改修し、その住宅を移住者に対して賃貸する新しい形の空き家の利活用について、モデル的に取り組みます。

## ○公共交通

児童生徒の通学や高齢者の方々の通院・買い物などの移動手段を

確保するため、町営バスや乗合ハイヤーを運行します。

遠軽町・佐呂間町と共同で進めている生活路線バスなどの将来像を示した「地域公共交通計画」を策定し、持続可能な地域公共交通の実現に努めます。

## ○ごみの収集・処理

ごみの減量が進むよう、分別の徹底やリサイクル意識の向上を図るとともに、適切で効率的な収集体制を構築します。

新たなリサイクル施設と最終処分場の整備を遠軽地区広域組合が主体で進めます。

## ○防災

「1日防災学校」の内容拡充を図り、防災教育を推進します。

地域の防災力の強化のため、引き続き自主防災組織の設立と活動に対する支援を行います。

## ○交通安全

町内における交通事故死ゼロ700日を目標に、さらなる交通事故抑制に向け、交通安全思想の普及啓発に努めます。

## ○情報通信対策

町民の利便性と行政事務の効率化のため、国が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画」に基づき、自治体システムの標準化や行政手続きのオンライン化などに計画的に取り組みます。また、デジタル社会に必要なマイナンバーカードの普及に努めます。

## ○環境対策

国が進める脱炭素社会の実現とそれに伴う太陽光発電設備の設置拡大に対応するため、町民の安全や自然を守り、地域と共生する太陽光発電設備の普及と適正な設置を推進することを目的とした独自の条例制定に取り組みます。

クリーンエネルギー自動車の普及に必要な不可欠な急速充電器を道の駅「かみゆうべつ温泉チューリップの湯」に設置するなど、二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティの令和6年度宣言に向けて、脱炭素の取り組みを進めます。

## 豊かな自然と産業がともに息づく活気あふれるまちづくり

## ○農業

家畜排せつ物の処理と再生エネルギーの利活用を目的とした「バイオマス産業都市構想」に基づき、持続性のあるバイオマス産業の構築と環境にやさしく災害に強いまちづくりを推進します。

## ○漁業

湧別漁業協同組合が建設するほたて玉冷加工場に支援を行います。湧別漁港・芭露漁港航路のしゅんせつ、登栄床漁港の物揚場と道路の補修、サロマ湖漁港第2湖口の防水施設の改良などに必要な地元負担を行います。

## ○林業

私有林の整備や森林整備を担う人材確保に対する支援をします。町有林を町の貴重な財産として後世に残せるよう「植えて、育て、切って、また植える」循環型の森林経営を推進します。

## ○商工業

中小企業を支援するため、北海道が行う事業者等事業継続緊急支援金（エネルギー価格高騰分）を上乗せして給付します。

町内事業者の持続・発展に向けた取り組みの検討を進めるとともに、まちなかのにぎわい、空間づくりなど中心市街地の活性化について検討します。

引き続き「愛町購買事業」を支援します。

## ○観光

チューリップ公園をはじめ、町



現在建設中の湧別漁協のほたて玉冷加工場

内観光施設の魅力度向上や観光情報発信の充実を図ります。

新型コロナウイルスの影響も重なり、観光施設の運営が厳しい状況なことから、公共施設再配置実行計画を推進しつつ、今後の観光施設のあり方や機能について総合的に検討します。

### ○交流人口

場所に縛られない自由な働き方を支えるため、文化センターTOM内にコワーキングスペースを整備します。

町内宿泊施設や移住体験住宅を利用する町外の企業・団体の従業員や個人事業主に支援します。

ピースフルスクールを取り入れた教育プログラムや、恵まれた自然に触れることができる保育環境を全国に発信し「保育園留学」の受け入れを進めるなど、交流人口、関係人口の拡大につなげます。

### ○産業間連携

農林水産業や商工観光業など、産業団体間の連携強化を図るための組織「湧別町産業間ネットワーク」により、地場産品の消費拡大効果的な特産品および観光PR、地域おこし協力隊の活動支援に取り組みます。

### ○地域おこし協力隊

隊員の1人が鹿肉ジビエの担い手としての事業承継に向け準備を進めているので、ジビエ事業を安定してできるよう支援します。

高齢化や後継者不足による商工業者の廃業を防ぐため、担い手と

しての地域おこし協力隊の採用に向けて取り組めます。

**誰もがいきいきと笑顔で暮らせるぬくもりのあるまちづくり**

### ○健康づくり

健康維持に向けて、総合健診や予防接種をはじめとした各種保健事業を実施します。

新型コロナウイルスワクチン接種は、今後の国の動向を注視しながら適切に対応します。

### ○地域医療

地域の医療を守り続けるため、各種支援を継続するほか、医師や地域医療体制の確保に向けて、関係団体と連携しながら、国や北海道への要請活動を行います。

地域医療維持費補助金の交付額を大幅に増額し、町内の入院病床の確保に努めます。

### ○障がい者福祉

障害者総合支援法に基づく介護給付サービスなどの適切な提供に努めます。

障がいのある方々が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう各種事業を実施します。

地域活動支援センター利用者の利便性向上のための施設整備に支援します。

### ○高齢者福祉・介護保険

高齢者の方々が自立した生活を送ることができるよう、支援体制の充実・強化、健康維持を図り、高齢者の社会参加を促進します。

### ○子育て支援

第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるように子育て環境の充実に努めます。

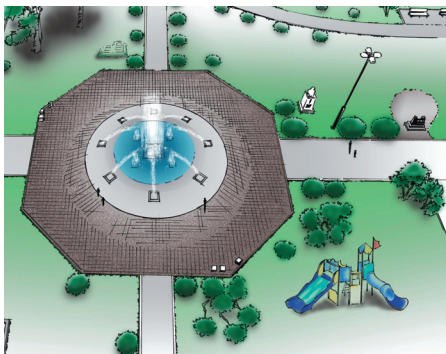
### ○母子保健

妊娠期から出産・子育て期にわたり、妊婦・子育て世帯に寄り添う伴走型支援を実施します。

出産や子育てに係る費用の一部を助成する「出産子育て応援給付金事業」を実施します。

### ○子育て世代の交流の場

町民憩の広場が子育て世代の交流の場となるよう、水遊びができるフラットな噴水に改修するとともに、複合遊具も整備します。



水遊びできるフラットな噴水と複合遊具を整備 (イメージ図)

### ○結婚支援

新生活のスタートに向けた新居の取得や改修、家賃費用などの一部を助成する「結婚新生活支援事業」は、新婚世帯の所得要件や補助上限額を拡充して支援します。

### ○幼児教育・保育

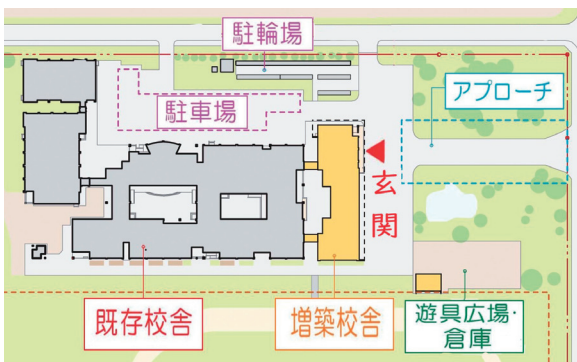
老朽化した芭露保育所の改築に向け基本設計を実施します。

町内の子どもたちが必要なときに教育・保育が受けられるよう公私立認定こども園、町立保育所の環境の充実に取り組めます。

**豊かな心とふるさとを愛する心を育むまちづくり**

### ○学校教育

小中一貫教育推進のため4月に町内2校目となる義務教育学校「ゆうべつ学園」を開校します。上湧別地区の義務教育学校は、令和7年4月開校に向け、新校舎として活用する現在の湧別中学校の増改築工事を本年度から2力年で行います。



本年度から実施される上湧別中学校の工事予定図

## ○湧別高等学校の存続対策

湧別高校存続対策事業による支援のほか、eスポーツ部とソフトテニス部の新設、令和6年度から開始する全国募集など、できる限りの施策を取り入れ、持続可能で魅力ある学校づくりに取り組みます。

## ○憩のスペースの確保

文化センターTOMロビーを木質化し、憩のスペースにします。



文化センターTOMロビー木質化（イメージ図）

## ○スポーツ環境の整備

安心して利用できるよう、五鹿山スキー場のコースを拡幅します。

## 町民一人ひとりが支え合い助け合う思いやりのあるまちづくり

### ○行政運営

自治基本条例に基づいた町政運営を進めるとともに、自治推進委員会による本条例の点検・見直しを行います。

第3次行政改革大綱に基づき、事務の改善・効率化を図るとともに、行政改革推進委員会による行政評価を実施します。

### ○役場庁舎の集約

庁舎等検討委員会の答申を踏まえ、町としての方向性をお示しし、本格的な協議をスタートします。限られた時間のなかで、町民による検討委員会と議員と協議を重ね、庁舎の集約を進めます。

### ○人材育成

質の高い行政サービスの提供に的確に対応するため、北海道と文部科学省に職員を派遣し、時代に即した人材育成を図ります。

### ○広報

ホームページ・広報ゆうべつを活用し、効果的・効率的に地域の魅力から身近な情報まで幅広く分かりやすい情報発信に努めます。

### ○広聴

町長とのふれあいトークや地域担当スタッフ制度、まちづくり懇談会、町長への手紙などさまざまな機会を提供し、町民の意見要望の出しやすい環境を整えます。

## ○町のイメージアップ

チューリップ応援大使の半崎美子さんが作詞作曲した本町のイメージソング「春を受け継ぐチューリップ」を防災スピーカーから、また、ふるさと応援大使の小泉潤弥さんが作曲したメロディーをごみ収集車から流し、町のイメージアップを図ります。

## ○地域コミュニティ活動支援

地域住民が主体となり、地域の活性化計画の策定を推進し、持続可能な地域づくりに取り組みます。

## ○多文化共生

基幹産業を支える重要な担い手として活躍する外国人の方々安心して日常生活を送ることができるよう、「多文化共生の地域社会」について検討します。

## ○チャレンジデー

運動・スポーツ、健康づくりの習慣化、きっかけづくりのため、チャレンジデーに取り組みます。

## ○ふるさと応援寄附

魅力ある返礼品を提供できるよう、産業団体や商工業者などとの連携協力体制を強化するとともに、広告掲載や寄附受付ポータルサイトの充実など、本町の魅力発信に取り組みます。

## ○eスポーツ

町民・世代間交流の機会提供、教育、健康づくり、介護予防での活用、さらには、まちなかのぎ

わい創出や地域活性化など、eスポーツを活用したまちづくりに取り組みます。

eスポーツ機材を文化センターTOMに整備するとともに、湧別高校魅力化事業の一環として新設される「eスポーツ部」に対する支援、屯田七夕まつりでの体験会、小中学生向け講座を実施します。

## 予算編成

「町民福祉の向上」を最優先に考え、住民生活の安定と町の持続的発展に向け、町の宝である子どもへの健全育成と産業の振興などを重点に編成しました。（詳細は8ページ「まちの予算」）

## むすびに

私たちには、先人たちが幾多の困難に立ち向かい、守り育ててきた豊かな自然環境や、築き上げてきた歴史・文化を次の世代へ引き継いでいく責任があります。

人口減少・少子高齢化など地方を取り巻く環境が厳しさを増すなかにあっても、誰もが「ここに住んでいてよかった」と実感できる魅力的な町であり続けるために、町民の皆さまとともに、湧別町総合計画に掲げるまちづくりの将来像「人と自然が輝くオホーツクのまち」の実現を目指し、本計画に掲げる施策を着実に実行してまいります。